

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 9 日作成)

小委員会名	各部構法小委員会	主 査 名：小見 康夫 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (構法計画運営委員会)	委員長名：大原 一興 主 査 名：角田 誠
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、建築の構法研究者・実務者等の関係者が個別に保有する、建築各部構法に関連する写真・画像データの資産を、互いに効果的に共有・活用するための「構法画像共有データベース」の構築を目指し、そのプラットフォームづくりを行うことを主な目的とする。これは、前・各部構法小委員会（2012.4～2016.3）で検討した「構法ナレッジベース」の延長・発展的研究に位置づけられる。また、これらに資する構法関連のミニ講演会、見学会等を随時開催する。</p> <p>【2016 年度（本年度）の活動計画】 「構法画像共有データベース」の試作システムの実装・及びデータベースへの登録作業を通じた、入力・検索面からみたシステム改善の検討</p> <p>【2017 年度（次年度）の活動計画】 システム改善及びデータベース公開による、活用・運用面からみたシステム改善の検討、さらに今後の持続的活用に向けた検討</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査：小見康夫（東京都市大学）、幹事：池尻隆史（近畿大学）、幹事：信太洋行（東京都市大学） 委員：南 一誠（芝浦工業大学）、角田 誠（首都大学東京）、名取 発（東洋大学）、熊谷亮平（東京理科大）、岡路明良（鹿島建設株式会社）、奥村誠一（青木茂建築工房）、加戸啓太（千葉大学）、石田航星（工学院大学）、前島彩子（明海大学）、小久保 彰（公益財団法人 建築技術教育普及センター）</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2016 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="https://sites.google.com/site/kakubukouhou/home">https://sites.google.com/site/kakubukouhou/home</a>

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	5 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 構法画像共有データベースのシステム構築と改善 web ブラウザベースの事例登録・閲覧システムについて、委員会内での試用を繰り返し、情報の登録を中心に試用を積極的に行って改善点のフィードバックを実施した。特に画像を整理し検索するためのタグの構造については重点的に検討を加えた。</li> <li>2. 構法画像共有データベースを用いた知識の共有 データベースシステムの試用に伴い、各委員が所蔵している構法事例を公開しあい解説することで知識を共有した。国内外の様々な改修構法、あるいは典型的な構法手法について、その位置づけについて討論した。</li> <li>3. 現場見学会の実施 本年度は現場見学会を1回開催した。対象は都心部の再開発事業であり、高層建築物の構法・生産に関する情報を共有した。</li> </ol>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 構法画像共有データベースについては、ユーザー側の使用感に大きな影響を与える情報検索についても試用実験を実施し、最終成果としてのデータベースの公開を目標として改善点の収集を目指す必要がある。</li> <li>2. およそ半世紀という構法計画学の節目の時期であるため、これまでの成果と今後の方向性について PD 等の開催を視野に入れて討論することが次年度以降の課題として示された。</li> <li>3. 最新の構法知識の共有を目的として、データベース拡充とともに現場・事例見学会やミニ講演会の実施が必要である。特に現場見学については積極的に実施して、討論の機会を増やすことを目指す。</li> </ol>